

柄杓一本で「抜け参り」

勝海舟と聞いて、思い浮かべるのは、「海軍奉行などの幕府の要職につき、江戸城無血開城に導いた切れ者」というイメージではないでしょうか。

その勝海舟の父、勝小吉（勝左衛門太郎夢酔）が綴った『夢酔独言』という自伝があります。勝海舟の父親だから、さぞかし品行方正な人生を…と思いきや、本人曰く「無法な馬鹿者」。喧嘩上等、自由奔放、自伝の何処を読んでも「やりたい放題」なその人生は、むしろ爽快感さえ漂います。（あまりの狼藉ぶりに、父親に三年間座敷牢に入れられていた最中に海舟が生まれたくらいです…。）

さて、『夢酔独言』には、十四の小吉が家を飛び出し、成り行きで伊勢詣りを目指したことが書かれています。「胡麻の蠅」と呼ばれる詐欺の手口にひっかかり、一文無しになってしまった小吉に、宿屋の主人は柄杓を一本渡し、これで方々を回ってお金などをもらってらっしゃい、と智恵を貸してくれるのです。

小吉のように、親や主人の許しを得ず、道中手形も持たずに伊勢詣りをするのは、「抜け参り」と言われました。着の身着のままでも、柄杓一本持ってさえいけば、ある程度の食料や路銀はまかなってもらえたようです。これは、「伊勢詣りをする人の手助けをすると功德になる」と言われていたからかもしれませんが、次々とやってくる抜け参りの人々が暴徒化しないよう、町々がとっていた予防策でもあったようです。

猫だってお伊勢詣りしたい？

「伊勢へ行きたい 伊勢路が見たい せめて一生に一度でも」と「伊勢音頭」に歌われているように、伊勢へ詣でることは、江戸の人々にとって憧れでした。中には自分が行けない代参として、犬や牛、豚などの動物を送り出した、という記録も残されています。

そんな、当時の一大イベント「伊勢詣り」。きっと人間以外のものも行きたいに違いない…という思いからなのではないでしょうか。三重県に伝わる、ボラの群れが伊勢詣りをする話や、新潟県に伝わる、杉の木と松の木の精が伊勢詣りした話など、様々な昔話が各地に残されています。

その中から、昭和17年に柳田国男が収集した、岩手県紫波郡に伝わる昔話「伊勢詣り猫」をご紹介します。

猫に「伊勢詣りにやってけろ」と頼まれた夫婦は、猫の首に「伊勢詣り猫」という袋を下げて送り出します。猫は、道々に人の家に寄ってはニャアニャア鳴き、ご飯や路銀をもらい、首尾良く伊勢詣りを済ませます。その功德で、帰りにはなんと尼の姿になる（！）のですが…。実は、この先に、怒濤の展開が待っているという昔話です。衝撃の結末は、是非ご自身の目でお確かめください。

青森県立図書館 参考郷土室

〒030-0184
青森市荒川字藤戸 119-7
電話：017-729-4311
FAX：017-762-1757
<http://www.plib.pref.aomori.lg.jp>

伊勢神宮とお陰詣り



『東海道』（安藤広重画）

広重の描いた『東海道』といえば、保栄堂版『東海道五十三次』が有名ですが、この絵は嘉永二年に寿鶴堂から出版された『隸書東海道』中の「四日市」です。

道の両側には、「名物まんじゅう」の幟。追分の茶店の饅頭といえば、『東海道中膝栗毛』にも登場する名物だったようですが、伊勢詣り途中の“おかげ犬”に、旅人が与えているのは、この饅頭かもしれません。旅人の脇に見える子ども達の手には柄杓が、

もしかすると、「抜け参り」の途中でしょうか…。伊勢までは、もうひとふんばり。がんばれ、おかげ犬。がんばれ、子どもたち。



伊勢神宮とお陰詣り ～展示「故郷の話題読み語り」に寄せて～

伊勢路をてくてく。「おかげ犬」たちのあしあとを辿る。

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
犬の伊勢参り	仁科 邦男	平凡社	2013	主配架 175.8 ニナ*カ	10214452835
犬の日本史 人間とともに歩んだ一万年の物語	谷口 研語	吉川弘文館	2012	主配架 645.6 タゲチ*カ	10214361154
志ぐれ草紙 復刻版 ※p44「三〇、犬の伊勢参り」	小川 涉	歴史春秋出版	2003	主配架 212.6 枯*ワカ	10213127042
少年少女のための合浦奇談 ※pp129-133「犬詣伊勢」	弘前市立弘前図書館	弘前市立弘前図書館	1986	児郷 081 ヒロサキリ (5)	10201073157

伊勢神宮と其処に至るまでの旅路には、様々な物語が生まれました。

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
伊勢神宮と日本人 式年遷宮が伝える日本のこころ	三橋 健 中野 晴生	河出書房新社	2013	主配架 175.8 ミツハシ*カ	10214482156
伊勢神宮を造った匠たち	浜島 一成	吉川弘文館	2013	主配架 521.817 ハシマ*カ	10214484490
伊勢神宮めぐり歩き 一二五社をたずねる悠久の旅	矢野 憲一 中野 晴生	ポプラ社	2012	主配架 175.8 ヤノ*カ	10214418322
伊勢神宮の源流を探る 式年遷宮の謎を解く	江口 洌	河出書房新社	2012	主配架 175.8 江*チキ	10214346376
わたしがみつけたもの 伊勢神宮125社をまわって	松尾 たいこ	武田ランダムハウスジャパン	2012	主配架 175.8 マツオ*カ	10214370823
伊勢神宮の智恵	河合 真如 宮澤 正明	小学館	2011	主配架 175.8 川イ*シ	10214307406
水と森の聖地、伊勢神宮	稲田 美織 千年の森フォーラム	武田ランダムハウスジャパン	2011	主配架 175.8 イタ*シ 2011	10214304905
伊勢神宮のこころ、式年遷宮の意味	小堀 邦夫	淡交社	2011	主配架 175.8 コホリ*カ	10214193612
伊勢神宮 魅惑の日本建築	井上 章一	講談社	2009	主配架 521.817 イノイ*カ	10213994279
伊勢詣と江戸の旅 道中日記に見る旅の値段	金森 敦子	文芸春秋	2004	主配架 384.37 カネリ*カ	10213168817
絵図に見る伊勢参り	旅の文化研究所	河出書房新社	2002	主配架 291.6 イ*ニシイ	10212823146

「伊勢神宮とお陰詣り」で紹介した本

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
岩手県紫波郡昔話集 日本昔話記録 1	柳田 国男 小笠原 謙吉	三省堂	2006	主配架 388.1 ニホムカシ (1)	10213577970
読みがたり新潟のむかし話 ※pp175-179「お杉とお松の伊勢参り」	新潟県小学校図書館協議会	日本標準	2005	児 388J ヨミガタ	10213436876
読みがたり三重のむかし話 ※pp72-76「ボラのお伊勢まいり」	三重県小学校国語教育研究会	日本標準	2004	児 388J ヨミガタ	10213316021
夢酔独言 現代語訳「勝小吉自伝」	勝 小吉 勝部 真長	PHP研究所	1995	主配架 289.1 カツ*カ	10212022891

こちらのサイトもおすすめです。

伊勢神宮 http://www.isejingu.or.jp/	内宮、外宮、別宮あわせて125社の総称である、伊勢神宮の公式サイト。更に詳しく知りたい方は、サイト中にある「伊勢神宮詳細サイト（伊勢の神宮）」へ。ニワトリのナビくんが案内する「アニメ・お伊勢参り」の最も重要なお祭りで、1300年の歴史を有する「式年遷宮」を伝える公式サイト。遷宮行事一覧やQ&Aなど、に関する様々な情報を確認するならこちらをどうぞ。
伊勢神宮式年遷宮広報本部 公式ウェブサイト http://www.sengu.info/index.html	
伊勢市観光協会公式ホームページ ええじゃないか伊勢の旅 http://www.ise-kanko.jp/jingu/	伊勢市観光協会の公式HP。「テーマでめぐるお伊勢さん」「伊勢を楽しむ周遊コース」などの他、「定番を知り尽くした方に…お伊勢めぐり上級編」や「昔話・民話」など、楽しいコンテンツがいっぱいです。

※紹介している本は、多くの資料の一部です。お探しの資料が見つからない場合ロケ、職員にお尋ねください。